

「京都市バスの路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会」の設置について

交通局では、新型コロナウイルス感染症の影響による経営危機を乗り越え、市民生活や多様な都市活動を支える市バス・地下鉄事業を安定的に運営していくため、令和4年3月に策定した「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン【改訂版】(2021-2028)」に基づき、御利用状況に応じた一層効率的な市バス路線・ダイヤの在り方について検討を進めることとしています。

この検討に当たり、学識経験者や市民公募委員をはじめ、多様な立場の方々から幅広い観点で御審議いただくため、本市の附属機関として「京都市バスの路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会」(以下、「検討委員会」という。)を下記のとおり設置しますので、御報告します。

また、路線やダイヤの検討に必要な基礎データとして、お客様の御利用状況を把握するため、令和3年11月から12月にかけて実施した「市バス旅客流動調査」及び「市バスお客様アンケート調査」の結果がまとまりましたので、併せて御報告します。

記

1 名称

京都市バスの路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会

2 設置趣旨**(1) 背景**

交通局では、この間、市バスネットワークの持つ長所をいかしながら、お客様サービスを追求することを基本に、路線・ダイヤの充実に取り組んでまいりました。

しかしながら、現在、新型コロナウイルス感染症の影響でお客様と運賃収入は大きく減少し、市バス事業はかつてない経営危機に直面しています。今後、インバウンド等の観光のお客様の回復にはまだ時間を要し、また、テレワークなどの新しい生活様式の定着等により、御利用がコロナ禍前の水準に戻ることは難しく、加えて、全国的なバス運転士などの担い手不足等、コロナ禍前からの経営課題もあります。

こうした中、市バス事業を将来にわたって安定的に運営していくため、お客様の御利用状況やこの間の経営環境の変化を踏まえた、路線・ダイヤの在り方について検討を進めることとしております。

(2) 諮問事項

自動車運送事業における路線及び運行計画に係る基本方針に関する事項について調査し、審議すること。

3 委員

(敬称略, 五十音順)

氏 名	役職・所属団体等
いのうえ まなぶ 井上 学	龍谷大学文学部教授
う の のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科教授
おかだ まり 岡田 まり	立命館大学産業社会学部教授
こいし くみす 小石 玖三主	社会福祉法人京都市社会福祉協議会会長
せと うた 瀬戸 うた	市民公募委員
たなか ちひろ 田中 千尋	NPO法人京都子育てネットワーク事務局長
つかぐち ひろし 塚口 博司	立命館大学名誉教授
とくだ せいこ 徳田 せい子	市民公募委員
むらた まさあき 村田 雅明	京都商工会議所議員 株式会社アーキエムズ代表取締役社長
やまもと あつひこ 山本 篤彦	公益社団法人京都市観光協会課長補佐 京都総合観光案内所（京なび）副所長

4 スケジュール等

- 第1回目の検討委員会を次のとおり開催します。

<開催概要>

- 開催日時 令和4年6月15日（水）午後4時30分～午後6時30分
- 場 所 京都市交通局本庁舎 会議室
- 次 第 開会
委員長等の選任
諮問
議題（予定）
市バスの御利用状況の現状
今後の市バス路線・ダイヤの在り方に向けての検討課題 等

- ・ 検討委員会は年度内に全5回開催し、審議を経て、答申を頂く予定です。
- ・ 検討委員会は全て公開で行います。

<検討委員会の開催スケジュール（予定）>

○第1回（6月15日）

○第2回～第4回（8月～11月）

- … ・ 市バス旅客流動調査や市バスお客様アンケート調査の結果等を踏まえた、今後の市バス路線・ダイヤの方向性について審議
- ・ 中間取りまとめ

○パブリックコメント（11月～12月）

○第5回（2月）

- … 答申案の取りまとめ

- ・ 答申案の取りまとめ後、検討委員会から答申を頂きます。
- ・ この答申を受け、交通局において今後の路線・ダイヤ編成に当たっての基本方針を策定し、これに基づく具体的な運行計画の検討を進め、令和6年春以降のダイヤ改正に反映させていきます。

5 「市バス旅客流動調査」及び「市バスお客様アンケート調査」の結果について

- (1) 市バス旅客流動調査の結果について 資料1 参照
- (2) 市バスお客様アンケート調査の結果について 資料2 参照

※ これらの調査結果は、今後、分析を深めるとともに、検討委員会での審議に活用していきます。